



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 新家工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7305 URL <https://www.araya-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 智司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 浜田 哲洋

TEL 06-6253-0221

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	26,893	13.9	338	63.3	453	59.6	1,010	53.2
2020年3月期第3四半期	31,251	4.1	922	44.6	1,121	37.6	659	41.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,794百万円 (111.5%) 2020年3月期第3四半期 848百万円 (95.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	181.37	
2020年3月期第3四半期	118.33	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	45,934	26,143	53.3
2020年3月期	46,166	24,823	50.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 24,479百万円 2020年3月期 23,202百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		65.00	65.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当予想については、未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	19.6	150	88.2	300	79.5	700	1.0	125.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,045,326 株	2020年3月期	6,045,326 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	477,038 株	2020年3月期	475,880 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	5,568,934 株	2020年3月期3Q	5,571,018 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界の経済活動に大きな影響を及ぼし、厳しい状況にあるなか、中国経済は回復基調にあるものの、世界経済は依然として予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと鋼管業界におきましては、新型コロナウイルスの影響により様々な分野で需要が低迷するなかで自動車関連は回復傾向にあり、また、物流倉庫などの物件も堅調に推移しながらも、設備関連は企業の投資抑制の動きが強く、総じて低調な動きとなりました。一方で、原材料価格は中国経済の回復による需要の増加や自動車生産の急回復などにより鉄鋼原料に逼迫感がみられ、原材料価格は上昇基調にあります。

普通鋼製品につきましては、自動車関連や物流倉庫などの物件、それに伴うパレットの需要は底堅く推移している一方、個人消費の落ち込みから住宅関連は低調で、建材需要も大型物件の一部に動きはあるものの、中型・小型の物件は延期や中止など低調に推移しました。

ステンレス鋼製品につきましては、食品・飲料、水処理関連の需要が比較的堅調に推移しているものの、建築関連や設備関連は依然として動きは鈍く低調に推移しました。また、ステンレス原材料については、市場価格に値上げの動きがみられました。

当社グループといたしましては、このような厳しい経営環境の中、製品の価格は正や安定供給に努め、主力の鋼管事業を中心に様々な顧客ニーズに柔軟かつ迅速な対応を図るよう積極的な営業展開を実施するとともに、設備稼働率の向上とコスト削減に努力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は26,893百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益338百万円（前年同期比63.3%減）、経常利益453百万円（前年同期比59.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,010百万円（前年同期比53.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は45,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ232百万円減少しました。流動資産は26,998百万円となり952百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1,380百万円であります。固定資産は18,935百万円となり720百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の増加824百万円であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は19,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,552百万円減少しました。流動負債は14,490百万円となり2,907百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1,162百万円、短期借入金の減少823百万円であります。固定負債は5,299百万円となり1,354百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金の増加1,351百万円であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は26,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,320百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加536百万円、その他有価証券評価差額金の増加571百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染再拡大により各国の経済規制が再び強化され、世界経済の回復には、更なる時間を要する状況にあります。また、国内経済も、幅広い業種でその影響を受けるなか、感染拡大防止策を講じつつ、経済政策などにより緩やかな回復基調で推移するものと思われま

すが、鋼管業界におきましても、物流倉庫関連や自動車関連等は比較的底堅く推移すると思われま

すが、建築関連や設備投資の計画見直しや中止等、鋼管製品の急激な回復は見込めない状況にあります。一方で、原材料は回復傾向にある中国の旺盛な需要や自動車生産の急回復により在庫が逼迫し、原材料価格の値上がりが進んでおり、当社の製品価格は正が急務な状況にあります。

当社グループでは、感染拡大防止に努め、主力の鋼管製品を中心に引続き提案型営業の推進と固有の製品開発に重点を置き、グループ企業間の連携を強化するとともに、関西工場を中心とした鋼管事業の生産体制の再編に注力し、一層のコストダウンを推し進めることで、経営基盤の更なる安定化を図り、効率的な生産・販売活動を行ってまいります。

また、連結業績予想につきましては、2020年9月4日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,874	7,629
受取手形及び売掛金	8,615	7,234
電子記録債権	3,634	4,778
有価証券	—	499
商品及び製品	5,669	5,038
仕掛品	543	481
原材料及び貯蔵品	1,378	1,089
その他	304	314
貸倒引当金	△67	△66
流動資産合計	27,951	26,998
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,170	5,035
土地	4,645	4,612
その他（純額）	2,471	2,343
有形固定資産合計	12,287	11,991
無形固定資産	153	393
投資その他の資産		
投資有価証券	5,252	6,076
退職給付に係る資産	13	—
その他	508	474
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	5,773	6,550
固定資産合計	18,214	18,935
資産合計	46,166	45,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,674	6,511
電子記録債務	1,398	1,640
短期借入金	5,231	4,408
1年内返済予定の長期借入金	—	183
未払法人税等	108	40
賞与引当金	383	174
事業構造改善引当金	247	—
その他	2,353	1,531
流動負債合計	17,397	14,490
固定負債		
長期借入金	1,050	2,401
役員退職慰労引当金	40	35
環境対策引当金	19	55
退職給付に係る負債	2,130	1,929
資産除去債務	7	7
その他	697	870
固定負債合計	3,945	5,299
負債合計	21,343	19,790
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	4,171	4,171
利益剰余金	15,436	15,973
自己株式	△695	△695
株主資本合計	22,853	23,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,301	1,873
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	△460	△361
退職給付に係る調整累計額	△493	△421
その他の包括利益累計額合計	348	1,089
非支配株主持分	1,620	1,664
純資産合計	24,823	26,143
負債純資産合計	46,166	45,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	31,251	26,893
売上原価	25,969	22,418
売上総利益	5,282	4,475
販売費及び一般管理費	4,359	4,136
営業利益	922	338
営業外収益		
受取利息	5	22
受取配当金	166	123
仕入割引	18	16
その他	87	71
営業外収益合計	277	233
営業外費用		
支払利息	21	26
売上割引	21	18
為替差損	8	52
その他	26	21
営業外費用合計	77	118
経常利益	1,121	453
特別利益		
固定資産売却益	2	676
事業構造改善引当金戻入額	—	167
特別利益合計	2	843
特別損失		
災害による損失	16	—
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	26	0
税金等調整前四半期純利益	1,097	1,295
法人税、住民税及び事業税	113	104
法人税等調整額	222	134
法人税等合計	336	239
四半期純利益	761	1,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	101	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	659	1,010

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	761	1,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	572
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	△21	94
退職給付に係る調整額	62	72
その他の包括利益合計	87	737
四半期包括利益	848	1,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	747	1,750
非支配株主に係る四半期包括利益	100	43



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結結果計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,510	349	383	31,243	8	31,251	—	31,251
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,510	349	383	31,243	8	31,251	—	31,251
セグメント利益又は損失 (△)	655	△69	323	909	1	910	11	922

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結結果計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,140	327	416	26,884	9	26,893	—	26,893
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	26,140	327	416	26,884	9	26,893	—	26,893
セグメント利益又は損失 (△)	34	△61	358	331	2	333	4	338

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。